

## 編集後記

4月29日に岡山伝道所で、若い人たちのことを考える会が開かれ、中四国の各教会・伝道所から54名が集まりました。教会は中高年の方々だけでなく、若い人たちにも信仰の素晴らしさをわかってほしいと願っていますが、若い人たちの心に届く言葉がなかなか見つかりません。これは信仰のことに限らず、日本のあらゆるところで起こっている問題ではないかと思います。

この日、講師の多田牧師は「この国で父親の権威が下がってしまったため、若者が、自分が乗り越えるべき権威を持たなくなったことに問題の根源がある」と語りました。その上で、イエス・キリストが説教されたあと、「群衆はその教えに非常に驚いた。…権威ある者としてお教えになったからである」(マタイ7章28、29節)と書いてあることに注目します。この場合の権威とは、上から押さえつけるような権威ではありません。愛にもとづく権威で、これこそが私たちの求めて行くべきことだということです。聖書にはそのような実例がたくさん出て来ます。これを聞いて、えりを正された出席者が多かったと思いますが、私もその一人でした。

(井上 豊)